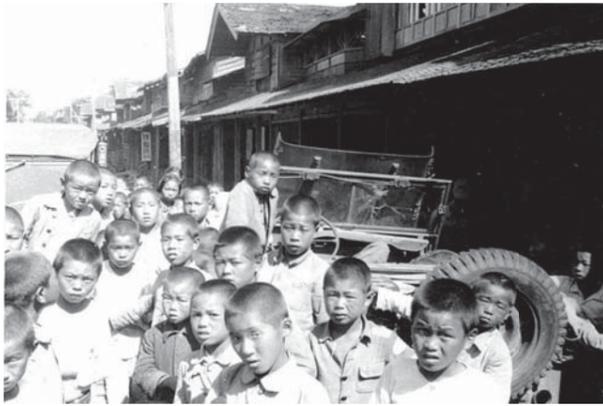


こすど地区公民館報

発行 小須戸地区公民館
〒956-0101
新潟市秋葉区小須戸120番地5
TEL (0250) 25-5715
FAX (0250) 38-5210
E-mail kosudo.city@city.niigata.lg.jp
編集 公民館報編集委員会

特集

米兵が見た1946年のコスド 戦争と平和を見つめ直す



△旧五番町からうでこき方面をのぞく
(下町の子どもたち)

新潟日報8月16日付け朝刊を見ると「米兵が見た1946年のニイガタ」という記事が、何枚かの写真とともに掲載されていました。その一枚に「表情豊か」と題して、栄養不足の中でも屈託のない顔をした小須戸の子どもたちの写真がありました。この記事が出て以降、誰彼となく「こすど」に写っているのは誰だろうか?という話が地域の中で持ち上がり、自発的に尋ね歩く人もいました。この写真は、米国コネチカット州在住の元米兵で、終戦直後の昭和21年(1946)1月から2月まで連合国軍総司令部(GHQ)の一員として、約1年間新潟県に滞在したジェームズ・イングリッシュさん(91)が撮影したものです。このたび、ご本人と新潟日報社のご好意で3枚の写真をご提供いただきました。今日の平和な社会があるのも、戦中、戦後を生きて抜いてきた先人の苦勞のうえに成り立っていることを忘れてはなりません。戦争体験の風化が危惧されていますが、これを機会に当時子どもだった方からお話を聞き、戦争と平和についても一度見つめ直してみたいと思います。写真に写っていたお二人からお話をうかがいました。

インタビューコーナー

〈質問の内容〉

- 1 この写真を撮られたのは憶えますか?
- 2 当時の暮らしはどうでしたか?
- 3 戦争を知らない世代に伝えたいことは?



押味久治郎さん
(小須戸・本町5 85歳)

1 憶えていませんね。でも、進駐軍から「電話はないか」と聞かれ、近所の電話がある家を教えてやりました。大人たちは家の中から進駐軍の様子をうかがっていました。子どもたちは「チョコやガムがもらえる」という噂がありました。集まって寄っていました。

2 国のやることには反対できず、建具屋をやっていた父は徴用され、商売を休んで新潟や加茂の工場に働きに行きました。親戚に農家がいて食べるものにはあまり困りませんでしたね。

3 「欲しがりません勝つまでは」で小学校3年から少年団訓練(戦闘訓練)を行ってきました。その訓練で「団結心」が養われました。今の人は平和でいいが半分気の毒に思っています。地域の団結心がなくなってきたような気がしますね。



△「表情豊か」カメラの前に集まってきた子どもたち



能登長利さん
(小須戸・うでこき 82歳)

1 進駐軍が来たのは憶えていますが写真のことは憶えていませんね。「アメリカ人」という恐怖心があり、「大勢なら怖くない」ということでみんな進駐軍を見に行きました。

2 食べるものがなかったね。着るものは古下がりばかりでした。

3 戦争は経験しないとわからないと思います。戦争は不条理で勝つことが大事になるんですね。戦争を始めたら終わる手立てはありません。言い換えれば「終わることができないから始めないこと」だと思います。



△当時の小須戸町長 川村隆太郎氏(右)

第12回 秋葉区美術展

美術を愛好する区民の創作作品を発表する場として、また生活の中に美術を味わう楽しさを普及していくことを目的として秋葉区展を開催します。

【部門】 日本画、洋画、版画、彫刻、工芸、書道、写真
会期 11月23日(金・祝)～12月2日(日)
午前10時～午後5時
(最終日の12月2日は午後3時まで)
会場 新潟市新津美術館
入場無料
問合せ 新潟地区公民館
電話 0250-22-9666
主催 新潟市秋葉区
共催 新津美術協会 小須戸文化協会



△キャンドルアートの表彰式

このイベント開催に向けて小須戸コミ協環境・教育部会では6月から準備を行ってきました。小・中学生に募集したキャンドルアートには、小須戸小2年吉田紗英さん(小須戸)の作品「オシャレくじら」が採用され「キャンドルアート賞」が贈られました。

イベント当日は天気も良く、チラスなどをみた多くの子どもたちやお父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃんなど沢山の人が訪れました。開会式に続いてキャンドルアートの表彰式が行われ、きらりんとのじゃんけん大会で賞品をゲットした後は、ダンボール迷路やスライム作り、スリッパ卓球などゲームやニュースポーツを楽しんでいました。公民館も協賛してワークショップ「ペットボトルで風車を作ろう」を開催し、親子などで楽しく真剣に風車作りに取り組んでいました。



△ペットボトルで風車を作ろう



△LEDライトで浮かびあがったキャンドルアート「オシャレくじら」

小須戸の人口増やそうプロジェクト

小須戸小学校4年生が、特産品のポケジャムを使って地元のお店屋さんと共に開発した新商品「ポケジャムクッキー」の発表会を行います。また、小須戸の良さを班ごとに発表します。地域の皆さんから児童の発表を聞きに来ていただきお買い求めいただければ幸いです。

日時 11月21日(水)
9時50分～10時50分
各班からの発表
11時～11時30分
スイーツ販売
会場 うららこすどイベントホール
◎問合せ 小須戸小学校(村井)
☎38-3500

公民館報1月15日号で年女年男を紹介します。

あなたの新年の抱負などをお寄せ下さい。

来年度の年女年男を大募集

対象 亥(いのしし)年生まれの男女(顔写真つきで簡単な質問に答えて頂ける方) 自薦、他薦を問いません。

申込み 11月30日(金)までに小須戸地区公民館へ

「ちょこっと一言」投稿者募集

あなたも一言どうぞ!!

毎号お馴染みの「ちょこっと一言」コーナーは、地域の話題や雑感を市民の方々からお寄せいただいています。あなたも「ちょこっと一言」に投稿してみませんか!テーマは自由です。興味、関心のある方は公民館までご連絡ください。

自然にやわしく 人にやわしく キャンドルナイトinこすど

9月の金曜夜3回シリーズで、中高年世代がこれからもずっと輝いているために「心・身体・生活」をもう一度見直し、整える方法を学ぶ講座を開催しました。



△第1回「ココロの整え方」

第2回目は「カラダの整え方」をテーマに、ライフプランの将来の目標、夢についてグループ討議をした後、ファイナンシャルプランナーの石井順子さんから「人生とお金について考える」「そのためには家計を見直す」として、具体的には、自家用車の見直し、生活必需品のレンタル利用など見直しのコツを学びました。加齢とともに誰もが持っている「心・身体・生活」の悩みや不安について、講座を通じて考え、行動するきっかけになったと思います。受講生からは回数を増やして同じテーマでもっと深く学びたいという意見もありました。いただいた意見をふまえながら今後の事業に活かしてまいります。



△第3回「生活の整え方」

第1回目は「ココロの整え方」をテーマに、ココロの不調に気づき、コントロールする方法を学びました。アンガーマネジメントファシリテーターの立松有美さんからアンガーマネジメントとは何か？怒りについて知って、怒りを自分でコントロールする方法をグループ討議しながら深めることができました。

第3回目は「生活の整え方」をテーマに、ライフプランの将来の目標、夢についてグループ討議をした後、ファイナンシャルプランナーの石井順子さんから「人生とお金について考える」「そのためには家計を見直す」として、具体的には、自家用車の見直し、生活必需品のレンタル利用など見直しのコツを学びました。加齢とともに誰もが持っている「心・身体・生活」の悩みや不安について、講座を通じて考え、行動するきっかけになったと思います。受講生からは回数を増やして同じテーマでもっと深く学びたいという意見もありました。いただいた意見をふまえながら今後の事業に活かしてまいります。



△第2回「カラダの整え方」

ずっと輝いているために 素敵な年の重ねかた講座報告

小須戸地区公民館

今年もやります！ 三三三 門松づくり

こんなのができるよ→

作ってお持ちかえりできます♡

◆門松(かどまつ)は年神様を家に迎え入れるための依り代としてお飾りする日本の伝統文化です。新しい年に向け、祖父母または親子で作ってみませんか。

12月15日(土)
9:30~11:30

会場：小須戸まちづくりセンター
対象：小学生とその保護者(祖父母と孫 または 親子)
定員：先着 15組
参加費：500円(当日持参してください)
持ち物：花ばさみ
申込み期間：11月16日(金)~12月7日(金)

お申し込み先：小須戸地区公民館 ☎0250-25-5715

- ### 小須戸地区図書室新刊案内
- 【一般書】
- ・読書という荒野 (見城徹)
 - ・武士の日本史 (高橋昌明)
 - ・脱北者たち (申美花)
 - ・本当に必要な「ゆるスクワット」と「かかと落とし」 (中村幸男)
 - ・1mの布地で作ろう！こどもの服&こもの (ブティック社)
 - ・モールの動物たち(国本雅之)
- 【児童書】
- ・でんしゃのずかん (五十嵐美和子)
 - ・はたらくくるまのずかん (五十嵐美和子)
 - ・おたすけこびと (なかがわちひろ)
 - ・めろんさんがね (とよたかずひこ)
 - ・いきものかいがた図鑑 (浅井ミノル)
 - ・どろんばあ (小野寺悦子)

俳句・川柳・短歌募集

題材は自由(お一人一句または一首)。住所、氏名(ペンネーム)可、電話番号を明記し、11月26日(月)までに小須戸地区公民館へ。

文芸欄

短歌

雪国は色白なると世辞言うて
海ぶどう 奨む石垣の女
秋深しお日様と風力借り
千し柿吊るし亡き母想ふ
何げなく暮す一日今日の日は
心さやかにゆったり過す
父子してテレビのアンテナ修理せる
背中のはやし子は父越えたり
ほやほやと湯気たちのぼり出来たての
スクランブルエッグ湯気もごちそう

川柳

〈自由吟〉
気がつけば介護を受ける列に入る
邂逅で貨物列車を眺めいる
散る花をわが身に重ね老いを知る

〈世話〉
孫の世話ジム通いより目方減る
世話になり感謝の涙湧く勇氣
年寄りを隣近所の目が守る
世話やいた子は成人し寄りつかず

俳句

枢ゆく金木犀のかほる道
痛み堪えあれやこれやと長き夜
病室の折り鶴染めて秋落暉
咲き続き「命のアサガオ」実となりぬ
会釈していつもの人や猫じゃらし
美しき寺の彫刻小鳥来る
茄子の棘チクリと指にささりけり
子には子の生き方ありぬ吾亦紅
虫の闇遠く流れる列車の灯
鈴虫の声に聞き惚れ長湯せり

馬場綾子
吉田幸子
風間えり
間野ひろむ
熊倉ひろむ
吉澤文子
丸山紀子
佐久間久子
中野玲子
本多子

久保ミネ子
玲泉
吉田まつえ
高橋キヨ
こみけ

会田修
浄栄
保枝
能登としお
増井都留
渡辺信子
奉和
風間源一郎

まちなか演奏会

10月6日(土)、小須戸まちづくりセンターと町屋ギャラリー薩摩屋を中心とした本町通り界隈でまちなか演奏会が開催されました。

今年新たに会場となったまちづくりセンターでは、小須戸中学校吹奏楽部と、アコーディオン奏者荒木奈緒子さんが素晴らしい演奏を披露してくれました。

その他の会場でも三味線、アカペラ、バンド演奏、そしてフルートとギターなど多彩なジャンルの演奏があり、のべ270名の来場者がお寺や町屋の雰囲気とともに音楽を楽しんだ一日でした。

盛り上がった『山の手地区敬老会』

10月7日(日)、小須戸地区ふれあい会館において、『山の手地区敬老会』が開催されました。心配されていた台風も重なる事なく天気に恵まれました。山の手地区12自治会より104名の参加者を迎えて行われた祝賀会では、小須戸中学校吹奏楽部の演奏に合わせて歌を歌ったり、アトラクションでは、小須戸大正琴愛好会・民謡さつき会・元気いっばいのフリースクールP&Tの発表を観て楽しみました。

参加者には、矢代田小学校4年生が自分達で育てた花を押し花にしてメッセージを添えたカードがプレゼントされました。会場内は、友となごやかに語り笑声ありの楽しい会となりました。

また、準備や運営等にご協力くださったコミ協健康福祉部、役員、各自治会の皆様、ありがとうございました。

●小須戸運動広場より工事のお知らせ●

- 野球場のバックスクリーンとフェールボールの改修工事を実施しています。
- 工事期間中は、野球場とゲートボール場をご利用いただけません。皆様にはご不便をおかけいたしますが、ご理解ご協力の程よろしく願いいたします。
- なお、テニスコートは、通常どおり利用することができます。
- 工事期間 平成31年1月11日まで

山の手コミュニティ協議会